

アジア支部対抗戦報告

シンガポール開催された2018年アジア支部対抗戦に参加してきました。
以下、概要報告致します。

期間：2018年9月15日から16日

北は、9月14日成田を発ち、シンガポールに入りました。

9月15日前夜祭、於シンガポール日本協会2階のボールルーム

9月16日開会式、支部対抗戦と一般の部に分けてのダブルエリミネーション方式によるトーナメントを実施。
表彰式、棋士による指導対局、懇親会が行われました。

会場は、シンガポール日本協会2階のボールルームを2日間使用しました。

将棋連盟からは、小林九段、高田七段、北尾女流二段が参加されていました。

団体戦は、10分30秒で行われました。当方が参加したのは一般戦で、結果は以下の通りです。

対ねこまどAに2-1、対香港Bに3-0、対シンガポールBに2-1、対ねこまどAに2-1

にて優勝しました。北は、トップボードで4連勝でした。今回は1名欠員が生じたため香港支部との混成チームとなりました。

台風の影響で参加支部の人数が50名に減りました。当初は、60名以上の参加申し込みがあったので残念でした。
その代わりに、現地の子も達が指導将棋に20名以上参加し、それなりの人数は、保てたと思います。

会場の日本人協会、ボールルームも立派な施設で、設立も1950年代と古く、飾られた写真を拝見すると除幕式には、当時の皇太子殿下、美智子妃殿下も列席されたようです。

前夜祭、昼食、懇親会で提供された食事も美味しくいただきました。

前夜祭では、ヨーロッパ並みに100名規模にするには今後どうすれば良いか、という
安部さんのプレゼンも行われ、意義のある大会でした。

私も個人での参加、他の支部への呼びかけを提案致しました。上海支部、台湾支部等は声掛けしたが
参加しなかったようです。広州は、日本人は、台風の影響で、不参加でしたが、中国人2名は、参加されていました。

結果は、支部対抗戦は、バンコク支部が5連覇という輝かしい成績を収められました。シンガポール支部・香港支部もメン
バーを揃えて善戦しましたが、壁は厚かったようです。

我々は、一般の部に参加、香港支部の中島様に加わって頂き、なんとか優勝できました。

沢山の参加賞に加えて、賞金（今年から賞金が出るようになりました）、藤井聡太の扇子、書籍を頂きました。

尚、今回は台風の影響を受けて参加者が少なかったため、次回は、台風の影響を避ける為、10月末頃に、
バンコクにて開催されることが決まりました。

以上 簡単ですが報告まで。

以下は、写真です。

日本協会のボードにも大会の案内が掲載されていました。



大会のルールを説明中です





優勝しました。



指導将棋の様子です。

参加者全体の集合写真です

